



しじゅうから

福島市小鳥の森通信2018年2月号 No.386

小鳥の森で観察してみよう 75

ヒガラ

シジュウカラ科
体の大きさ：11cm（スズメ
（14cm）より小さい）

生態：

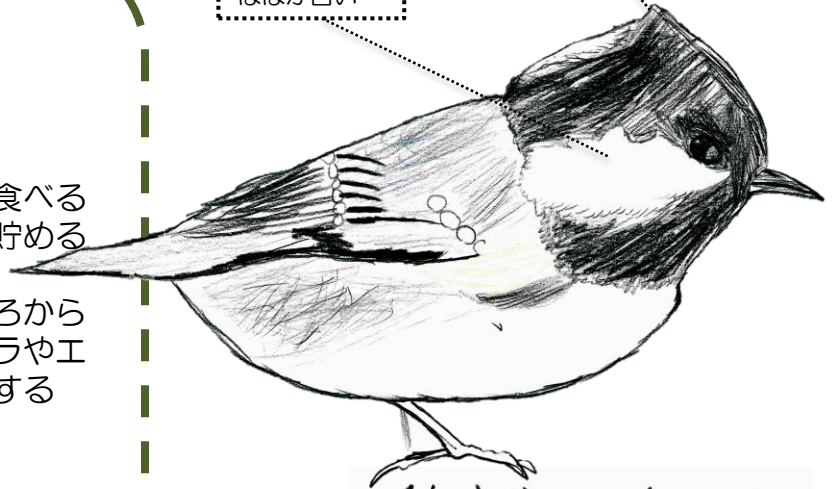
- ・昆虫・クモ・果実・種子を食べる
- ・木の幹のすき間に食べ物を貯めることがある
- ・冬になると、山の高いところから平地に移動し、シジュウカラやエナガなどと群を作って生活する

小鳥の森での観察：

- ・冬の期間、アカマツの林などで、移動して食べ物を探す様子を見ることができる

頭に興奮すると立ち上がる、黒い冠羽（かんう）がある

ほほが白い



みうら ひなた

今回の絵は、みうら ひなたさんが描いてくれました。

2月の自然予報

2月も後半になってくると、少しずつ春の気配を感じられるようになります。

水を貯えている旧棚田では、ニホンアカガエルの声が聞こえたり、産み始めた卵を見ることができたりするでしょう。

ニホンアカガエルは、平地や丘陵地にくらし、水田などのように水の流れがなく、日当たりの良いところにボール状の卵を産みます。

産卵も全国的にみると12月や1月に卵を産んだ例もあるようです。小鳥の森の過去の記録を調べてみると、2月下旬から3月下旬頃と年によってばらつきが見られました。

今年はいつ頃に卵を産み始めるのでしょうか。旧棚田に行くのが今から楽しみです。



ニホンアカガエルの卵を確認した記録

2001年3月1日
2002年3月2日
2003年3月11日
2004年3月4日
2005年3月9日
2006年2月26日
2007年2月25日
2008年3月13日
2009年2月27日
2010年3月2日
2011年3月28日
2012年3月25日
2013年3月19日
2015年2月24日
2016年3月16日
2017年3月22日

1月の自然

1月に入ると雪が積もる日が増えました。そのおかげか、6日にはオオマシコを確認しました。小鳥の森では実に16年ぶりの記録です。

福島市内でも標高の高いところでは毎年確認されているようですが、小鳥の森のように、標高約230mでオオマシコを見かけることは稀です。3日、4日と雪になっていたこともあり、標高の低い小鳥の森まで降りてきたのではないかと思います。

また、11日には近隣のあぶくま親水公園で、普段は海沿いにいるシノリガモを確認しました。前日は風が強かったので、内陸まで入ってきたのかもしれませんが。

今年の1月は、普段はあまり見られない野鳥が見られた1か月となりました。



オオマシコ



シノリガモ

小鳥の森スタッフだより

枝で検索 豊作の年

葉を落とし枝ばかりが目立つ冬の木々は、枯れたようで命の気配を感じません。ですが、春に再び生長を始めるための芽は、枝にしっかり付いています。芽は、芽鱗（がりん）と呼ばれる小さな鱗（うろこ）状に変形した葉に包まれ、寒さや乾燥から守られています。

さて、枝に残った芽鱗の痕（あと）を使って、過去の豊作年が調べられることを知っていますか？枝の先端から最初の痕までが1年前に伸びた枝。その痕から次の痕までが2年前に伸びた枝。と、一年ずつ過去の枝へとさかのぼることができます。豊作だった年は、たくさんの実をつけることにエネルギーを注ぎ、枝の伸びが短い傾向があります。大豊作・大凶作があるコナラなどは伸びの長短が見分けやすいので、冬の森散策途中に観察してみてくださいね。

（スタッフ・くろさわさちこ）



小鳥の森出前講座のご案内

小鳥の森では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や、森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたたり、調整したりすることもできます。（クラフトの材料等は放射線量の低い地域や県外からの寄付で頂いたものを使用しています。）

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXでお申し込みください。（※既に希望の日程に予約が入っている場合は、対応できない事もありますので、ご了承下さい。）



出前講座の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2018年2月号No.386/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま